

施工時の注意点

会社 (株)イトーヨーギョー
所在地 大阪市北区中津6丁目3-14
担当部門 営業推進部
電話 06-6455-2503

ロジングリップの施工の際は道路法、道路交通法、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、安全には十分注意してください。

警告…誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または負傷を負う可能性が想定される内容のご注意です。

注意…誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物質的損害の発生が想定される内容のご注意です。

お願い…ロジングリップの機能保持上、お守りいただきたい事項です。

- ① **警告** 別紙「施工手順書」に従い施工してください。
- ② **お願い** 外気温10度以下では、ロジングリップの柔軟性を維持し施工を容易にする為、ロジングリップを室内などの暖かい場所に置いてください。
- ③ **警告** 施工するマンホール蓋はFCD製（ダクタイル鋳鉄製）に限ります。その他の材質のものへ施工する場合は必ずご相談してください。
- ④ **警告** 施工するマンホール蓋にヒビやキズがないか必ず確認してください。特に安全性を重視する必要がある場合は「浸透深傷テスト」「音響検査」等を行ってください。
- ⑤ **注意** 加熱したマンホール蓋、ロジングリップには直接素手で触れないでください。
- ⑥ **お願い** ロジングリップは歩行者、二輪車のスリップ防止を目的に製品化されております。歩道または生活道路のマンホール蓋に使用してください。
- ⑦ **お願い** ロジングリップの施工面をバールなどで叩かないでください。
- ⑧ **警告** ダクタイル鋳物製のマンホール蓋は、強靱ですが、鋳物の一種でありバーナーでの加熱にあたっては、下記条件を守って細心の注意を払って行ってください。

1) 蓋の加熱は、赤外線温度計等で測定し、200度以上には絶対に加熱しないでください。

推奨の加熱温度は120度～150度です。

2) バーナーで加熱する際には、局部的に加熱することは避け、均一に加熱してください。局部加熱を行うと、膨張の差が起こり、変形または亀裂等の原因になります。

3) 赤熱するような加熱や、局部的に赤熱するような加熱は絶対にしないでください。材質劣化による強度の低下や、亀裂を起こす恐れがあります。

以上